

シンポジウム

参加
無料
(事前申込不要)

文化財の 保存と 修理

文化財を守り伝える ①



名古屋城本丸御殿(提供 名古屋城総合事務所)
上洛殿二之間北西面(上段)、玄関東南から(下段左)、表書院上段之間北西面(下段中央)、本丸御殿対面所内部(下段右)



第1部 保存と修理の現場から

- 「文化財修理の必要性—研究者から見える諸問題」 大原 嘉豊(京都国立博物館)
- 「文化財を受け継ぎ未来へ繋ぐ—絵と書の修理」 山本 記子(国宝修理装演師連盟)
- 「特別史跡 名古屋城—新資料から探る修理の歴史」 朝日 美砂子(名古屋市秀吉清正記念館)

第2部 文化財の保存と修理

座談会



文化財の修理風景(提供 株式会社松鶴堂)
剥落止め(左)、表打ち(右)

日時 平成30年 10月27日(土)

13:30~17:00 (受付は13:00から)

会場 けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK)

2階 ミュージアムホール (JR 祝園駅・近鉄新祝園駅~KICK 無料シャトルバスあり)

※詳細は裏面をご参照ください

主催 独立行政法人国立文化財機構 京都国立博物館 後援 木津川市・精華町



独立行政法人国立文化財機構 文化財防災ネットワーク推進事業



平成30年度美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業

シンポジウム 文化財を守り伝える ①

文化財の保存と修理

日時 平成30年10月27日(土)
13:30~17:00会場 けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK)
2階 ミュージアムホール

長い歴史の中で、時間の経過とともに文化財が傷んでいくことは避けられません。そればかりか、地震や台風、豪雨等の天災や戦禍、あるいは地域の過疎化など、文化財はさまざまな要因によって滅失の危機にさらされてきました。かけがえのない文化財をわたしたちがいま目に見ることができる背景には、大切な品々を後世に遺そうとする強い意志と努力があります。

本シンポジウムでは“文化財の保存と修理”をテーマに、文化財を守り伝えるための取り組みをご紹介します。研究者・技術者それぞれの視点から、連続と続く文化財修理の重要性を考えるとともに、その貴重な事例の一つである名古屋城の保存と修理の歴史を紐解きます。文化財保護の取り組みについて、広くご理解いただく機会となれば幸いです。

会場までのアクセス

[会場] けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK)

[所在地] 京都府木津川市木津川台9丁目6番・相楽郡精華町精華台7丁目5番1



JR 祝園駅・近鉄新祝園駅発着シャトルバス乗降場所

JR 祝園駅・近鉄新祝園駅~KICK
無料シャトルバス運行 (申込不要)

【時刻表】

JR 祝園駅・近鉄新祝園駅→KICK 行

12:00 12:30 13:00

KICK→JR 祝園駅・近鉄新祝園駅行

16:45 17:20

公共交通機関をご利用の場合

■京都から

「京都駅」▶近鉄京都線「新祝園駅」▶奈良交通バス^{*1} (所要約50分)

■大阪から

「京橋駅」▶JR学研都市線「祝園駅」▶奈良交通バス^{*1} (所要約70分)「本町駅」▶中央線・近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」▶奈良交通バス^{*2} (所要約60分)「難波駅」▶近鉄奈良線「生駒駅」▶けいはんな線「学研都市登美ヶ丘駅」▶奈良交通バス^{*2} (所要約60分)

*1奈良交通バス36・37・56系統で「公園東通り」下車

*2奈良交通バス56系統で「公園東通り」下車